

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



ベトナム 研修

2016年7月31日から7日間、ベトナムのベンチェ省に行き、SVCA“ベトナムの子ども達を支援する会”の第7次プロジェクトCBR班のベトナム交流ツアーに研修として参加させていただきました。SVCAとは“1990年4月30日に設立した会で、ベトナム南部のベンチェ省や北部のバクザン省の障がい児(者)教育、リハビリテーション、母子保健を中心とした取り組みに関わり続けてきた小さなNGO”です(HPより抜粋)。そしてSVCAの会員には、日本全国の医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士・教員などの多様な専門家、および国際協力に長けた方がたくさんいらっしゃいます。

今回の交流ツアーでは、ベンチェ省の人民委員会(地方行政機関)から提案された支援要請により①ベンチェ省発達支援センター職員、幼稚園・保育園の先生のための研修会の開催及びその支援②ベンチェ省障がい児学校25周年記念のお祭りの開催及びその支援③ベンチェ省立NDC(Nguyen Dien Chieu)病院リハビリ科スタッフの専門技術向上のための支援に、協力をしてきました。私は、幼稚園保育園の訪問や家庭訪問、障がい児学校でのお祭りの開催に携わりました。毎日がとても濃く充実していて、驚きと学びに溢れていました。

一言では語りつくせないのですが、印象に残っている出来事の一つに障がい児学校でのお祭りがあります。お祭りは学校の先生方と協力をしながら、7つのブースに分かれて行いました。私は“書道”の担当になり、日中の活動が終わってから就寝時間までを使って準備をしました。お祭り当日は、多くの障がい児学校のお子さんや関係者の方が参加しました。初めて触れる日本の文化に興味を示しつつも実際に筆を持つと不安気な表情をするお子さんが多く、一緒に筆を持って見本を指しながら漢字を書きました。完成したときには満面の笑みを浮かべ、完成の喜びを共有することができました。お子さんたちの熱心で真剣なまなざしを今でも鮮明に覚えています。また、ことが伝わらなくても、お互いが歩み寄り理解しようとする大切さを改めて感じる事ができました。

最後に、貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。

ありがとうございました。ベトナムでの経験を日々の業務に還元していきたいと思います。

(リハビリテーション科言語聴覚士 山上 典子)



からふる 活動報告

発達支援室からふるでは6月から8月にかけて講習会を開催しましたのでご紹介します。

第1回 就学情報交換会

毎年開催している就学・進学に向けての情報交換会が、6月18日土曜日に開催されました。

午前は中学校へ、午後は小学校への就学を控えているお子様の保護者を対象に行われ、教育委員会の方や特別支援学校、特別支援学級、支援教室の先生方、先輩保護者からのお話を聞いていただきました。

中学校の部では中学校での取り組み内容や生活の話以外に、中学進学からその後の就学・就労に向けて社会生活の自立を促す取り組みについての話も盛り込みながら講話者の方々にお話をいただきました。

小学校の部では初めての就学に向けて、手続きや学校・学級の特徴、日々の取り組みについてのお話をしていただき、後半は各ブースに分かれてより詳しい情報や質問を真剣に聞かれる保護者の方々が多くみられました。

就学・進学に向けての悩みや不安に対し、少しでもお力になれるよう多くの方とのコミュニケーションを取りながら情報を集め、悩みを相談できる講習会を引き続き提供できればと思います。

職員向け夏の講習会

例年夏休みの時期に開催している保育園・幼稚園・特別支援教育に関わっている職員向けの夏の講習会を実施しました。

今年は7月29日の夕方に臨床心理士による「自閉症の早期療育の知見を集団指導・学級経営に活かす」と題し、特別支援教育に携わっている先生方、保育園・幼稚園の先生方と一緒にグループワークを通して発達段階ごとの関わり方に対する理解を深めました。

おいしく楽しく安全に食べるためのコツ ～からだとおくちの発達の関係～

7月9日土曜日には理学療法士、言語聴覚士による「おいしく楽しく安全に食べるためのコツ」と題して、食事と姿勢について、重症心身障害児者に関わる職員・家族向けの講習会を開催しました。姿勢・食事・実技に分けて行いました。実技ではどの姿勢が安全で食べやすいのか実際に食べ物を摂取しながら体験していただきました。

発達が気になる子への支援方法

8月20日土曜日には「発達が気になる子への支援方法」の講習会を開催しました。言語聴覚士による『ことばの発達とこどもへの支援』では、言葉の発達から困ったときのお子さんの気持ち、支援者がどう伝えればいいのかなど、その背景と支援方法について一緒に考えながらお話をしました。その後、作業療法士による「不器用な子の体づくり・手先の指導方法」について、身体と手の機能、鉛筆やハサミ操作の不器用さ体験、補助具や介助の仕方をお話しました。

多くの保育園・幼稚園・療育施設からの先生方にご参加頂き、日々関わっているお子さんのために知識を高め保育に活かそうとする熱心な姿がみられました。



今後も子供達に関わる先生方や職員、家族の方々に対して、より理解を深めて関わっていただくためにも今後も皆さんのご要望にお応えできるような企画を開催していきたいと思っております。

(発達障害児支援室 塩澤 悦子)

台町四丁目納涼祭り



7月23日(土)に台町4丁目町内会の夏祭りがありました。曇り空ではありましたが、雨が降ることもなく、無事に予定通り開催されました。

「島はち」からは所長、副所長をはじめ職員14名が参加し、午前中は舞台上の飾りつけや夜店のテーブル配置、看板の設置など会場の設営を行いました。

夕方からは『綿菓子』と『ポップコーン』の夜店を出店し、販売を行いました。作ることが間に合わなくなるくらい行列が出来て大盛況でした。

待っている子ども達は綿菓子が膨らんでいく様子やポップコーンがポンポンとはじける様子を見ては「おー!!」と驚きの声を上げていて、その姿がとても可愛く印象的でした。

お祭りの最後にはカラオケ大会に出場し、所長や職員で舞台上に上がって、ブルーハーツの『トレイントレイン』とモンゴル800の『小さな恋の歌』の2曲を熱唱しました。町内会の方からは「カラオケ大会中で1番盛り上がった。舞台も揺れていた。」

とのお言葉を頂きました。夏祭りを通じてますます地域との繋がりが深まっていると感じました。

私は今回初めて行事委員として参加し、地域の方々と触れ合ったり、雰囲気を感じることが出来ました。今後も皆様との関係を大切にしながら、島はちが共に支え合っていけるような関わりや活動をしていきたいと思います。

(通所科 幅 大輔)



通所 お食事外出



6月28日(火)は、島田療育センターはちおうじ通所科では小グループでお食事外出を行いました。毎年この時期に行う恒例のお食事外出です。

目的地は、当施設から車で20分ほどの場所にある、かごの屋 日野多摩平店でした。

梅雨真っ只中ではありましたが爽やかな晴れの日、4名の利用者様はバスに揺られ、国道20号を府中方面へ。心待ちにしていたかごの屋の大きな看板。そして、店内に入る暖簾をくぐると落ち着いた和の雰囲気、お食事の香りがただよっていました。

あらかじめメニューをお借りし、注文していたので到着しすぐに昼食が届きました。3名の利用者様は、ふわとろオムカレーと夏野菜のサラダ。お1人の方はミニまぐろ三味丼とお好み麺セットでした。ゆったりとした空間で舌鼓を打ちました。

おいしいお食事をいただき、店員の方からのおもてなしをうけ、とても楽しいひと時を過ごさせていただきました。お腹いっぱいになった利用者の方々は、たいへん満足した表情をされていました。

(通所科 實方 智保)

通所 ナイトケア



7月30日(土)は、毎年恒例の花火大会鑑賞のナイトケアでした。

花火大会の前、通常の活動時間帯には、八王子市のボランティアグループ「今日和(こんにちわ)」さんによるハーモニカ演奏を聴いて午後のひと時を過ごしました。見慣れた普通のハーモニカと違う珍しいハーモニカでの演奏をみんなで聴き、心地よいメロディーを堪能しながら、楽しい時間を過ごしました。



休憩や夕食を済ますと、待ちに待ったメインイベントの花火大会になりました。心配されていた天気も嘘のように晴れ、提灯が飾られた雰囲気抜群の3階屋上で花火鑑賞を行いました。富士森公園から打ち上げられる迫力満点の花火の光と音を体で感じながら、大勢の方たちと一緒に楽しむことができた花火大会ナイトケアとなりました。

(通所科 一条 昌宏)

第42回日本重症心身障害学会学術集会に参加して

9月16日～17日にかけて、北海道札幌市の札幌市教育会館で第42回日本重症心身障害学会学術集会に参加してきました。今年は当センターから、口演、ポスター発表を合わせて10演題の発表を行いました。

今年の重症心身障害学会学術集会は「重症心身障害児者の在宅支援のあり方 ―支援方法と支援内容―」というテーマのもと、今年も全国から様々な角度から発表があり、今後の療育にすぐに生かしていく事ができる発表が多くあり、大変勉強になりました。また、今年は北海道の広大な大地も発表者の後押しをして、発表者も自信をもって発表をすることができました。発表に際し、ご協力いただきました

た皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。
ありがとうございました。

(通所科 大谷 聖信)



ほっとひといき

先日「シン・ゴジラ」の映画を見ました。「新世紀エヴァンゲリオン」の庵野秀明が総監督・脚本を務めたということで、話題になっていた作品です。累計興収33億突破、累計動員数230万人突破と景気の良い数字が飛び込んできますが、映画に疎い私には、なんとなくすごい数字なのだろう、という感想を抱かせるにとどまりました。

「新世紀エヴァンゲリオン」はテレビシリーズから劇場版まですべて追いかけて、「ゴジラ」も平成のVSシリーズが大好きでした。意気揚々と劇場に足を運び、アイスコーヒーを片手にスクリーンに映し出される「シン・ゴジラ」を堪能しました。現れるゴジラ、翻弄される日本政府、焼ける街、打倒ゴジラの作戦、登場人物たちのちょっとしたセリフ回し、どれも最高でした。

インターネットでは様々な感想や考察が飛び交い、2017年にはまた新たなゴジラ作品が予定されているなど、この「ゴジラ」旋風はまだまだ続きそうです。熱冷めやらぬうちにもっとゴジラ作品を見たいところですが、空っぽのレンタル屋の棚を背に、今日も涙を吞んで帰宅の途につくのみであります。

(通所科 児玉 裕)



おしらせ

information

第5回 島はちセミナー

『発達障害と家族支援』（講演 玉井 邦夫先生）

平成28年 11/23（水） 13：30～16：00

◆場所…八王子高等学校 ◆参加費…500円

◆定員…200名

◆当センターホームページに申し込み用紙があります。



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

♡ えみんぐ ♡

■インフルエンザ予防接種受付中！！

実施日：平成28年10月26日～平成29年1月6日

水曜日 13時30分～14時45分（えみんぐ）

金曜日 13時30分～14時45分（えみんぐ） 16時～17時（療育）

※12月28日（水）・1月4日（水）は年末年始の為予防接種は行いません。

※予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい
病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療
を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	●	●	●	●	●		
13：45～14：45	予	予	予	乳	予		
15：00～17：00	●	●	●	●	●		

予…予防接種 乳…乳児健診

*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

